

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 1 月 31 日作成)

小委員会名	組積工法改良研究小委員会	主 査 名：上之藺隆志 就任年月：2010 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工本委員会	委員長名：梶田 佳寛 主 査 名：上之藺隆志
設 置 期 間	2010 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>組積造建築物は、耐久性（長寿命）、高断（蓄）熱性能、高遮音性能、型枠不要等の利点を有しているが、普及を阻害している要因もあり、これらについていくつかの課題が 2009 年度までの小委員会において指摘された。この小委員会では、材料、施工および構造的な研究で打破できる阻害要因に関する部分を研究し、組積工法の改良を図る。</p> <p>初年度) 材料、施工、構造的な研究で打破できる阻害要因の研究課題の抽出 2 年目) 研究・実験成果を組積工法の改良に反映 3 年目) 改良した組積工法に関するマニュアル（案）等の作成、ならびに改良した組積工法の普及方法の検討</p>	
委員構成 (委員名（所属）)	委員公募の有無：無 上之藺隆志（BL）、眞方山美穂（国総研）、千歩 修（北大）、長谷川拓哉（北大）高橋和雄（太陽セメント）	
設置 WG (WG 名：目的)		
2010 年度予算	69,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 阻害要因を解消するための研究内容・テーマについて議論し、鉄筋コンクリート組積造の開発方針とは異なる新たな切り口での改良方針について、研究課題の整理を行った。
委員会活動の問題点・課題	

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。